

## 令和7年度習志野市防災会議 会議録

### 1. 開催日時

令和8年1月28日(水) 午前10時00分～午前11時30分

### 2. 開催場所

習志野市役所5階 委員会室

### 3. 出席者

別添名簿のとおり

### 4. 報告及び審議

報告第1号 委員の変更について

報告第2号 習志野わくわく BOSAI フェア(令和7年度習志野市総合防災訓練)  
の成果について

報告第3号 習志野市地域防災計画の一部修正について

議案第1号 令和8年度習志野市総合防災訓練の指針及び日程等(案)について

### 5. 会議資料

別添資料のとおり

資料1 報告第1号 委員の変更等

資料2 報告第2号 習志野わくわく BOSAI フェア(令和7年度習志野市総合防災訓練)  
の成果

資料3 報告第3号 習志野市地域防災計画の一部修正について

資料4 議案第1号 令和8年度習志野市総合防災訓練の指針及び日程等(案)

### 6. 議事内容

【宮本会長】

<令和7年度習志野市防災会議の開会を宣言>

本会議は、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」により、原則公開となっている。

なお、本日の内容に非公開となる事項はない。

会議録については、要点筆記とし、会議名、日時、場所、出席者氏名、会議概要、発言委員名を記載したうえで、市ホームページ及び市役所グラウンドフロアの情報公開コーナーにおいて公開する。

会議録署名委員として、松島 大 委員(千葉工業大学創造工学部都市環境工学科 教授)

及び上原 真一 委員(東邦大学理学部生命圏環境科学科 教授)を指名する。

#### ○報告第1号 委員の変更について

【安田危機管理課長】

委員の変更について報告する。

資料1を御覧いただきたい。

黄色でマークしている委員(関係機関16名、市職員8名)が前回会議以降に新たに委員となった。

#### ○報告第2号 習志野わくわく BOSAI フェア(令和7年度習志野市総合防災訓練)の成果について

【安田危機管理課長】

昨年11月16日に実施した習志野わくわく BOSAI フェア(令和7年度習志野市総合防災訓練)の成果について報告する。

資料2を御覧いただきたい。

今年度の総合防災訓練は、「見に行き、体験して、楽しく学ぶ防災」をテーマに、参加者が楽しみながら防災に関する知識や理解を深め、防災意識の高揚を図るとともに、様々な訓練に参加・体験することをおして、地域住民間の顔見知り関係の構築を図り、また、避難所を身近に感じていただくことを目的に昨年、11月16日の日曜日に市内公立小・中・高等学校26箇所の会場で、「習志野わくわく BOSAI フェア」として実施した。

訓練内容について市民初動として、自宅における自分自身の安全確保や通電火災の防止要領の確認を実施した。

その後、訓練会場となる学校へ移動し、避難所開設訓練の一環である受付を実施し、わくわく BOSAI フェアに参加をいただいた。

わくわく BOSAI フェアの主な内容には、実施項目に記載のとおり、①の思い出を作ろうフォトコーナーから⑦の豚汁の炊き出しを実施したほか、医療本部による応急救護所の設置運営訓練や医療的ケア者の避難訓練を実施した。

今年度は、初めてすべての会場において炊き出しの訓練を実施した。実施の背景としては、過去の災害の事例から、避難所で温かい食事を提供することが推奨されていることから地域住民と避難所配備職員にて協働で実施した。

次に2ページを御覧いただきたい。

今年度の総合防災訓練は、本日の防災会議に御出席の各団体の他、多くの関係団体の御協力をいただいた。ありがとうございました。

次に3ページを御覧いただきたい。

参加者数について報告する。

参加者数は、昨年度と比べ市民の参加が921人増、関係機関や市職員が95人増、計 1,016人増と大幅に増加した。ペットの同行避難数につきましては、15会場で犬33匹の参加となった。

参加者を回数、年齢等に細分化したところ、全体の約1,900人が初めて防災訓練に参加している。これは、従来の統制型訓練ではなく、自由に見て回ることができる自由参加型とし

たことにより、参加のハードルが下がったことによるものと考えられる。

その結果、30代以下の参加者は前年度の約6%から約33%へと大幅に増加し、未就学児及びその保護者など、これまで参加の少なかった世代の参加が見られた。また、住民間の交流が深まり、顔見知り関係の構築につながるなどの一定の成果があったと分析している。

一方、60代以上の参加者数は、前年度の約1,700人から約1,100人へと減少した。これは、若年層向けの訓練内容を充実させたことや、安否確認訓練及び避難所運営訓練等を実施しなかったことが要因であると考えられる。

訓練内容を大幅に刷新したこと、周知の方法を拡大したこと等により関心が集まり、他自治体からの参加者も見受けられた。

次に4ページを御覧いただきたい。

今年度のフェアの満足度について5段階評価のアンケートを実施したところ、約76%の方から「大変満足」又は「満足」と回答をいただいた。一番満足度が高かった内容は、関係機関の協力により実施した「わくわく体験コーナー」が約24%と一番満足度が高いとの回答をいただいた。

アンケートや自由意見で挙げられた課題及び次年度への反映等について、課題は大きく4つと認識している。

1つ目は、訓練内容についてである。

複数の会場より、過去の訓練で実施していた町会、自治会等、各地域において安否確認を実施したのち、避難所等配備職員への報告の訓練や避難所運営委員会の設置及び開設訓練を求める声があった。

このことから、来年度の総合防災訓練は、これらの要望があった訓練と今年度の楽しく学べる要素を取り入れた形式での訓練実施課目構成を検討していく。

2つ目は、会場の案内表示や人員の不足。

3つ目は、ペット同行避難訓練の運用方法。

4つ目は、各会場を運営する担当者数の配置についてである。

今後、訓練結果を精査し、改善を図っていく。

### ○報告第3号 習志野市地域防災計画の一部修正について

【安田危機管理課長】

まず、報告3号の資料について、1)趣旨の部分で京成大久保駅南側の大久保2丁目と記載されているが、本大久保2丁目が正しい。お詫びして訂正する。

習志野市地域防災計画の主要な修正内容としては、大きく3点ある。

1点目は、生涯学習複合施設(プラッツ習志野)の第一避難所への指定についてである。

地域防災計画において、京成大久保駅周辺的第一避難所は、北部に大久保小学校と大久保東小学校、南部に屋敷小学校と第六中学校の合計4箇所を指定している。

京成大久保駅南側の本大久保2丁目・3丁目・5丁目の一部地域は、自宅から第一避難所まで距離があること、踏切が存在し避難経路が限定されることなど、避難に時間がかかるため、プラッツ習志野を補助避難所から第一避難所へ変更をしてほしいとの要望が地域より挙

げられていた。この地域からの要望を受け、更なる地域防災力向上のため、昨年11月にプラッツ習志野の内、中央公園体育館及び中央公民館こどもスペースを避難施設として指定した。今回の指定により、第一避難所は市内28か所となる。

2点目は、津波対応方針の一部変更についてである。

昨年7月30日に発生したカムチャツカ半島沖を震源とする付近の地震が発生し、本市が含まれる「東京湾内湾」に津波注意報が発表された。本市の地域防災計画では、津波注意報が発表された場合、警戒配備体制をとり、情報収集を行うこととなっていることから、今回も警戒配備体制を取ったのち、災害対策本部長である宮本市長の指示のもと、市公式LINEや緊急情報メール、市ホームページ、更には、海浜地区を限定に防災行政無線での注意喚起の放送を行った。

しかしながら、本市として、市民や海浜利用者、海浜周辺へ勤務されている方等の安全を更に確保すること、また、東京湾内湾の近隣市が海浜の利用者や海浜周辺の住民などを対象に避難指示を出していたことを踏まえ、避難指示の発令基準を含めて整理をし、対応方針の一部を変更したものである。

主な変更点は、津波に伴う避難指示等の発令基準の変更と避難指示の対象地域の新規設定となる。今回の変更に伴い、津波注意報発表時においても津波警報、大津波警報と同様に避難指示を発令することとした。また、避難指示の対象地域は資料のとおりとなっており、国道14号以南に対し津波情報に応じて対象地域を設定した。

3点目は、今年度締結した災害時応援協定についてである。

締結済みのものは2つであり、1つ目は「ロイヤルホームセンター株式会社」との「災害時における物資の供給及び一時避難場所等の提供に関する協定」、2つ目は、日本軽金属株式会社船橋工場との「災害時における一時避難場所等の提供に関する協力協定」である。

また、その他3団体と令和8年3月末までの協定締結に向けて調整中である。

次に2ページをご覧ください。

その他の修正について、総則編から大規模事故編については、上位法令等の改正に伴う修正や火災予防対策の見直し等、各部局からの意見や機構改革に伴う、災害対策業務等の変更及び修正を行っている。

資料編については、福祉施設の追加、自主防災組織の新設、保育園の名称変更及び土砂災害警戒区域等の更新に伴う修正を行っている。

#### 【宮本会長】

報告第1号から第3号について、一括して質疑、ご意見をお伺いする。

#### 【松島委員】

津波の避難指示に関して、新たに明記された対象地域を図面で確認できるようになっているのか。

#### 【宮本会長】

事務局より回答をお願いします。

**【亀崎危機管理監】**

対象地域の図面に関してはまだ作成していないが、津波注意報と津波警報に区分して文言の中で対象地域を明記している。

**【宮本会長】**

その他に意見等がないため、報告第1号から第3号については終了とする。

**○議案第1号 令和8年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)について**

**【安田危機管理課長】**

令和8年度習志野市総合防災訓練の指針及び日程案について説明する。

指針としては、今年度同様に、幅広い世代が楽しみながら防災を学び、興味を持っていただけの参加・体験型の訓練と、避難所の開設・資機材取り扱い訓練などの実践的な訓練を組み合わせた内容を検討する。

次に、実施日については、令和8年11月29日(日曜日)を予定している。

訓練会場については、避難所となる公立小学校16箇所、中学校7箇所、高等学校3箇所の計26会場で調整を行う。

実施内容については、一部・二部構成で、第一部は、市民初動訓練・安否確認訓練、避難所の開設・避難所運営委員会の設置、防災資機材の取扱い訓練、第二部は、わくわく体験コーナー、お楽しみクイズラリー、炊き出し等を検討している。併せて、災害医療本部・応急救護所訓練を市庁舎及び応急救護所設置場所等で実施、医療的ケア者の避難行動訓練を市内福祉施設等で実施予定となっている。

今年度と同様、4月頃に関係機関と調整を開始し、7月以降、小学校区ごとの町会・自治会や自主防災組織代表者に対する事前説明を実施する。

訓練参加予定の関係機関及び団体については、可能な限り、今年度ご協力いただいた皆様に参加いただき、防災に係る専門的な知識を活かし、訓練実施のサポートをお願いしたいと考えている。

**【宮本会長】**

議案第1号について、意見無しのため、本実施方針案で決定とし、審議については終了とする。

**7. その他**

**○令和8年度習志野市防災会議の予定**

**【安田危機管理課長】**

令和8年度の習志野市防災会議は、令和9年1月29日(金)を予定している。

また、今年度同様、リモートによる開催も準備する。

**○委員挨拶**

【大胡 真一 代理委員(関東農政局千葉県拠点主任農政推進・地域防災官)】  
農業施設等の災害予防や応急復旧等を行っている。

【小澤 一雅 代理委員(千葉県葛南地域振興事務所 次長)】  
総合防災訓練では、VR(豪雨、津波)の視聴体験と物資輸送訓練を実施した。

【上野 兼通 委員(千葉県千葉土木事務所長)】  
国道、河川等の維持管理を行っている。  
災害時においても関係機関と協力して対応する。

【篠永 通英 委員(千葉県企業局船橋水道事務所長)】  
総合防災訓練等を通じて引き続き災害に備えていきたいと考えている。

【木内 俊介 代理委員(千葉県習志野警察署 警備課長)】  
警備課が災害関係を担当している。  
引き続き、各関係機関と協力して対応する。

【飯田 裕一 委員(習志野市消防団長)】  
総合防災訓練では、消防団約90名が参加し、市民との顔見知り関係が構築できたと感じている。

【植木 克弥 委員(東京電力パワーグリッド株式会社 京葉支社 支社長代理)】  
緊急時においても停電をさせないよう努め、万が一停電した場合は早期復旧に努めていく。

【本田 豪 代理委員(NTT 東日本株式会社千葉事業部)】  
総合防災訓練では171のサービスの周知をした。  
災害時においても、通信の早期復旧に努めていく。

【廣川 勝俊 委員(東日本旅客鉄道株式会社 津田沼営業統括センター所長)】  
列車の運行情報が非常に大事だと感じている。  
引き続き、地域及び行政と情報連携をしていきたい。

【続 和則 代理委員(京成電鉄株式会社 京成津田沼駅 助役)】  
引き続き、各関係機関と協力していく。

【川谷 聡 委員(本大久保ホームタウン自治会自主防災会 会長)】  
避難行動要支援者名簿の共有の道筋を作っていただき感謝している。  
個別避難計画について、民生委員や高齢者相談員が自宅で保管することに懸念がある。  
効果的な個別避難計画が作成できるよう、個別避難計画の対象者等、今後とも危機管理課

と協議していきたい。

【中村 昇司 委員(元香澄地区自主防災組織連絡協議会 会長)】

香澄小で行った総合防災訓練では、釜に対して具材の量が合っていなかった。  
訓練では若い世代の参加が増えたという集計結果もあったので良かったと思う。

【松島 大 委員(千葉工業大学創造工学部都市環境工学科 教授)】

強風による農作物の被害等を研究している。  
協力できることがあれば協力していきたい。

【上原 真一 委員(東邦大学理学部生命圏環境科学科 教授)】

地震に関する研究を行っている。

【朝香 智仁 委員(日本大学生産工学部土木工学部 教授)】

習志野市と包括協定を結んでいるため、今後も協力していきたい。

【田久保 直子 委員(習志野市民生委員児童委員協議会 会長)】

197名の民生委員・児童委員が活動している。  
災害時も含め引き続き地域に情報を提供できるように活動していく。

【緒川 由里子 委員(習志野市男女共同参画審議会 委員)】

先日男女共同参画センターで実施された防災講座で、避難所運営において、女性や子ども、障がいのある方、高齢者など、多様な課題が存在することを認識した。

【相原 和幸 委員(習志野市議会 議長)】

炊き出し訓練について、毎回同じ方がやるのではなく、色々な方に失敗も含め経験していただき、実災害に備えていただきたい。

民生委員については、災害時の対応方法等について引き続き行政と連携をしていただきたい。

市議会に関して、災害時正しい情報を地域の方々に共有できるよう注意していきたい。

【三東 武司 委員(習志野市医師会 代表理事)】

災害時における応急救護所について、現在市内中学校を中心に4か所設定している。

災害医療対策会議において、将来的に現在の応急救護所を市内4病院に設置する病院前救護所へ移行していくことを検討しており、令和8年度の総合防災訓練では病院前救護所の訓練を実施できるよう準備を進めている。

【向井 健介 委員(習志野市歯科医師会 会長)】

災害時の各避難所における口腔ケアについて、支援していきたい。

【久保木 俊光 委員(習志野市薬剤師会 副会長)】

災害時には、市内の薬局より薬の供給ができる体制を整えている。

【本宮 隆 委員(習志野市連合町会連絡協議会 副会長)】

谷津連合町会では防災訓練を2月8日に予定していたが、選挙の影響で中止になった。

今後も引き続き総合防災訓練や町会の防災訓練で支援をしていきたい。

【高岡 健示 委員(陸上自衛隊第1空挺団 第3普通科大隊長)】

災害対応においては、市との連携はもとより各団体と連携することになるため、引き続き協力をお願いしたい。

【田久保 浩一 委員(習志野市社会福祉協議会 会長)】

2月15日日曜日に災害ボランティアセンターの立ち上げや受付の訓練を実施する予定。

【鈴木 香里 委員(千葉県助産師会 習志野・八千代・鎌ヶ谷地区災害対策委員長)】

災害発生時には市からの支援を受け、避難された母子の見守りや緊急対応や電話対応をしていく。

毎年総合防災訓練にも参加させていただいており、今後とも引き続き習志野市の母子の支援をしていく。

【大出 智恵美 委員(習志野防災ネットワーク)】

総合防災訓練において、全会場で、ペット同行避難訓練を実施したことは非常に良いことである。

引き続き、総合防災訓練にも協力させていただきたい。

【井上 誠 代理委員(千葉県習志野健康福祉センター 副センター長)】※Zoom 参加

災害時の情報収集について、今後も確実に実施していく。

【遠藤 良宣 委員(習志野市副市長)】

来年度の総合防災訓練について、関係機関の意見をブラッシュアップして11月29日の訓練を実施していきたい。意見等があれば危機管理課までお願いしたい。

【小熊 隆 委員(習志野市教育長)】

体験を重視した防災教育を実施していく。

総合防災訓練は学校が会場となるので、学校職員も参加させていただき様々な課題に対応していきたい。

【竹田 佳司 委員(習志野市企業管理者)】

企業局ではガス・水道・下水道の事業をしている。

地震をはじめとする自然災害、ガス・水道・下水道に起因する事故等も全国的に散見している。引き続き安定供給に努め、常に非常時を想定し地域のインフラを守っていきたいと考えている。

今後も委員の皆様のご協力をいただきながら事業を推進していきたい。

【菅原 優 委員(習志野市総務部長)】

危機管理課が総務部に属しており、総合防災訓練をはじめ、様々な防災にかかる取り組みを実施している。引き続き、ご協力をお願いしたい。

【島本 博幸 委員(習志野市政策経営部長)】

4月より新しい基本構想がスタートしていく。将来都市像を『多彩で豊かな交流が広がるまち 習志野』と定め、災害時においても人と人とが助け合えるような関係性が築かれることを目指している。

習志野市では習志野市まちづくり応援基金を用意している。教育・福祉・子ども等様々なメニューがあるので、何かきっかけがあればご協力をいただき、共にまちづくりに尽力いただければ幸いである。

【小倉 一美 委員(習志野市協働経済部長)】

災害時は、物資供給等に関して担当するため、避難所への物資供給を迅速に行えるよう努める。

町会、自治会を所管しており、引き続き、しっかりと連携を図っていく。

多様性社会の推進の中で、避難所運営においては、女性をはじめとする多様な立場の視点による課題があると認識している。今後とも周知啓発に取り組んでいきたい。

【奥井 良和 委員(習志野市健康福祉部長)】

災害時には三師会を中心に医療対策本部を設置し、応急救護所をはじめとする災害医療、高齢者や障がいのある方といった要支援者の方々への支援を行っていく。

引き続き、ご協力をお願いしたい。

【佐々木 博文 委員(習志野市子ども部長)】

日中の災害発生時は、児童の安全確保及び保護者に安全に引き渡すことが重要であると認識しており、各災害種別に応じて、防災訓練を実施している。

引き続き、各団体の皆様、地域の皆様との連携、情報共有を図っていく。

【森野 繁 委員(習志野市都市環境部長)】

災害時には、道路等のインフラ等の復旧、ペットの同行避難の対応、災害ごみを含めたごみの対応を主に行う。万が一に備え、今後も引き続き十分な準備をしていく

【三角 寿人 委員(習志野市教育委員会学校教育部長)】

避難所として学校の体育館及び校舎の整備に尽力している。

2月末にはすべての学校の体育館に空調の整備が完了する。避難所の運用に関しても活用できるものと認識している。

【上原 香 委員(習志野市教育委員会生涯学習部長)】

プラッツ習志野が第一避難所として追加された。

プラッツ習志野においては、一般の方が多く利用する施設であり、指定管理者が管理していること等も含め避難所として今後の運用方法をしっかりと検討していく必要がある。

【真田 知幸 委員(習志野市企業局業務部長)】

企業局は市民のライフラインを守るという重要な責務を担っている。

災害時に関して、周辺エリアからの応援や被害状況によっては全国からの応援を受け入れることになる。企業局として受け入れ体制を整え、インフラの早期復旧に向けて対応していく。

【御山 俊行 委員(習志野市企業局工務部長)】

ガス、水道、下水道の安定供給に努めている。災害時においても関係機関と連携をしながらインフラの早期復旧に努めていく。また、習志野市は上水道において、市営水道と県営水道の2つにまたがっているため、千葉県企業局とも連携を図りながら対応していく。

【鈴木 憲一 委員(習志野市消防長)】

昨年の火災発生状況に関して、前年度の約1.8倍となる52件が発生し、救急出場件数に関しても11,000件近く発生している。大規模な災害時は消防力が劣勢となることが想定されるため、電力の復旧後に起こる通電火災の予防のため、今回の地域防災計画の改正の中で感震プレーカーについての記述を追加している。

今後とも官民連携で減災に努めていきたい。

【亀崎 智裕 委員(習志野市危機管理監)】

川谷委員から要望のあった「個別避難計画の是正等」については、今後個別避難計画の取り扱いや対象者について所管課と協議し、対応していく。

また中村委員からの「炊き出し」に関する指摘については、炊き出し窯を含めた防災資機材の更新や地域が持っている資機材の把握等、訓練の場を活用して地域との連携をより一層図っていきたい。

今後についても各関係機関や関係団体との連携を図り、災害に対する対応と備えを実施していくため、引き続き協力をお願いしたい。

【宮本会長】

お忙しい中お集まりいただき感謝を申し上げます。

災害時はすべてが非常事態となる。人口減少や行政職員の縮小という中で災害時の迅速な対応のためには自助、共助、公助が大切になってくる。共助の部分のさらなる構築のため総合防災訓練も引き続き実施していく。

関係機関の皆様においては、引き続き協力をお願いしたい。

<令和7年度習志野市防災会議の閉会を宣言>

上記のとおり令和7年度習志野市防災会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長より指名された出席者2名が署名(及び押印)する。

令和8年 2月24日

会議録署名委員

松島 大



会議録署名委員

上原 真一



